

今切今丘

令和6年度新居高等学校書道部

津波から
逃げきる

地震が来たら
空振りを恐れず頂上へ



平時の活用が有事の備えに

憩う



天気良ければ「富士山」が見える



命山とは
～先人の知恵や経験を活かして～

袋井市大野及び中新田には、江戸時代前期の17世紀末に築造された可能性が高い人工の築山（静岡県指定史跡）が確認されています。

延宝8年（1680年）閏8月6日の高潮被害により、民家6000軒が流出し、300人の溺死者があり、その後、築山がつくられたと古文書に記されています。

そののち、高潮が発生した時は、築山に避難し、命を助けてくれる山ということで「命山」などと呼ばれるようになりました。こうした先人の知恵や経験を現代に活かしていくことで、地域の防災力強化につなげていきます。



中新田命山（出典：しずおか文化財ナビ）



静岡県 浜松土木事務所 企画検査課

☎ 053-458-7266

✉ hamado-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp



浜名港海岸 命山 いまざれ おか 愛称：今切の丘

想定される最大クラスの津波から新居井天海釣公園の利用者の命を守るための緊急避難先として、静岡県浜松土木事務所が平成 26 年から整備を開始し、令和 7 年 3 月に完成しました。命山は、有事のみならず、平時にも頂上まで登っていただくことが可能となります。頂上からは浜名湖を一望できるだけでなく、天気が良ければ富士山まで見晴らせる場所となります。

愛称「今切の丘」に込められた思い

愛称考案者 石田 充裕さん（湖西市在住）

浜名湖の入り口「今切口」の近くにあり、西は伊良湖岬、東は御前崎、北は浜名湖、そして南は大海原の遠州灘が見渡せるこの丘が、多くの命を守る場所であってほしいとの思いを込めました。

「丘」という言葉は、平日頃からのハイキング、ウォーキングなどのゴール地点を想起させ、皆が集う場所を感じさせるところがポイントです。

※愛称募集に対して 874 件もの応募をいただきました。
厳正なる選考を経て愛称を決定しました。
応募いただいた皆様、ありがとうございました。



避難対象人数 750 人

海拔 23.0m

想定される
最大の津波高 15.8m

